

2025-26
第 32 回例会
2026.5.20



国際ロータリー第 2530 地区 県北第一分区

福島南ロータリークラブ会報

会員 77 名中 55 名出席 71.43% 修正 65 名 84.42%メイクアップ 10 名
例会会場/ウエディング・エルティ 水曜日 18:00~

◆会長あいさつ 菊地和宏会長

皆さんこんにちは。

まず一句、「見慣れても やっぱり見たい ロータリアン」
連休があり、暫くぶりの方もいらっしゃいますが、やっぱり皆さんの
顔を拝見するとホッとします。本日は夏のような暑さの中、ご参加
ありがとうございます。さて、本日のお客様をご紹介します。

新しい米山奨学生、ホアン・ティ・トゥエットさん。

そして会津若松西 RC より、幹事の柳橋幸正様、佐藤栄朗様、加藤百
江様です。

後ほど、ホアンさん、そして柳橋様よりご挨拶を頂戴致します。

柳橋様とは大橋 PSG を通じて、佐藤様とは地区でご縁を頂き、いつもお世話になっておりま
す。そして加藤百江さんは…実は私の“娘のような存在”。私の職場から独立し、会津若松で大活躍
の愛弟子です。佐藤様にその話をしたところ、なんと翌日すぐに彼女のもとへ行き、RC 入会を勧
めた結果、二つ返事で入会。このスピード感、まさにお二人のフットワークと即断即決に感謝で
あります。

さて、今月は大型連休前後に行事が続きました。

5・6 日の福島リトルリーグ大声杯、9・10 日の全国インターアクト研究会・福島会議。どちらも
大変好評だったと報告を受けています。

詳細は河野忠社会奉仕委員長、齋藤高裕青少年奉仕委員長より会報で紹介頂きます。

ご参加頂いた皆さん、貴重なお休みの中、本当にありがとうございました。

そして 16 日の移動例会では、奥会津の東北電力水力館 MIORI へ 24 名で行って参りました。
バス移動中に富永会員から“事前講義”があり、その後の見学は理解が深まり、更に齋藤館長と富永
会員のご厚意で、一般来館者のいる中、特別に例会を開催することができました。齋藤館長と富永
会員に改めて感謝申し上げます。

澄み渡る青空と新緑、只見川の雄大な流れ、そして東北電力の歴史とエネルギーに対する想いに
触れ、心が洗われる時間となりました。

また、途中、齋藤清美術館にも立ち寄り目の保養もして参りました。

楽しい遠足、いや例会、行けなかった皆さん…大変残念でした。



さて、このあと財団委員会より、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、そしてクラブ 100% PHF の表彰があります。 PHF は累計 1,000 ドルの寄付で認定され、以降 1,000 ドルごとにマルチプルが増えていきます。

昨年、当クラブとセブ RC と共同で職業訓練高校へ 5,000 ドルを支援しました。

パソコンや介護コースの開設など、現地の子供達の未来を支える支援活動、これらは全て、皆さん一人ひとりの寄付が現地に届いた結果であります。

これこそが RC 財団のグローバル補助金事業であります。

大きなことを成し遂げるには、小さな積み重ねが大切。

寄付の方法も、例会だけでなく My Rotary やカードなど多様です。

「皆さんの寄付が地域と世界に“良いこと”を生み出す」、、、、これこそが「ロータリーのマジック」です。来月は国際大会が開催され、当クラブからは 18 名が参加します。

体調を整え、世界大会を楽しんで参りましょう。以上、会長挨拶と致します。 本日もどうぞ宜しくお願い致します。

◆誕生祝い

- ・伊藤弘子会員・高橋実会員・廣澤俊樹会員
- ・高橋正一会員・高橋和之会員・藤原和雄会員
- ・高橋和憲会員・オカンポメリッサブラザ会員
- ・斎藤ミヨ会員・木村昇会員



◆マルチプルポールハリスフェロー



斎藤ミヨ会員
野地利雄会員

◆クラブ 100%

ポールハリスフェロー認証状授与

